

官民協働海外留学支援制度 トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム 「地域人材コース」

沖縄からアジアヘトビタテ! 留学 JAPAN プロジェクト 第 9 期生 留学報告会



平成30年度 第9期生 8名

- 1. 日 時 平成31年2月8日(金) 14:30~17:00
- 2. 場 所 琉球大学 地域創生総合研究棟1階

3. 次第

- 14:30~15:50 報告会
 - ・主催者挨拶・・・・・・・・・・・・・沖縄産学官協働人財育成円卓会議代表 大城 肇
 - ・支援企業代表ご挨拶・・・・・・・・・・・沖縄経済同友会代表幹事 渕辺 美紀
 - 第9期派遣留学生報告(8名)
 - 記念撮影
- 16:00~17:00 懇談会

平成30年度派遣 第9期生 留学体験記

工藤 恭平(名桜大学 国際学群 3 年)

派遣国:中国/上海

県内インターンシップ先:ブルームーンパートナーズ株式会社

海外インターンシップ先:上海沖縄県人会(上海ユナイテッドアチーブメント、沖縄県上海事務所)

中国/上海に留学して、印象に残っているのは中国のビジネスの速さです。経営者の決断力が早く、驚きの連続でした。私自身決断にモタモタすることが多いので、彼らのスピード感を見習いたいと思いました。

将来は沖縄県内企業の海外展開をサポートする経営コンサルタントになりたいと考えています。上海のインターンで感じたのは、「会計」が企業にとって重要なことだということです。海外展開をするにも、海外の会計制度が絡み、複雑になることから、卒業後は会計事務所で働き、会計の力を身に付けたいと考えています。





比嘉 彩乃(沖縄国際大学 産業情報学部4年)

派遣国:シンガポール

県内インターンシップ先:城紅型染工房

海外インターンシップ先: Okinawan Dinner Nirai-Kanai

留学先では、多言語が話せるとよりチャンスが広がることを体験できたことが一番印象に残っています。ビジネスの場や日常生活で英語と中国語が飛び交い、この三ヶ月間で言語の重要性を感じたと同時に、とても刺激を受けました。中国語が話せると一歩踏み込んだコミュニティに入ることができたり、円滑に物事が進んだりする場面に多く遭遇し、世界で通用する人材になるには、言語能力と多彩な知識、多文化を尊重する心が大事だと学びました。

世界で活躍する人材になるために、沖縄の伝統芸能への理解を深め、自分の軸をしっかりもち、どこのフィールドにいてもオープンマインドで頑張りたいと思います!将来は世界で活躍して、大好きな沖縄を広めていきたいです。

喜納 舞杏(琉球大学 観光産業科学部2年)

派遣国:シンガポール

県内インターンシップ先:一般社団法人沖縄観光コンベンションビューロー

海外インターンシップ先:沖縄県シンガポール事務所

留学中はシンガポールを中心とした東南アジアの観光を学び、沖縄観光の可能性を調査してきました。芸術や民族文化、戦争跡地、自然、建築などを利用した多様な観光スタイルに触れ、観光のあり方は1つではないことと、観光が地域にもたらす効果を学びました。

沖縄観光の発展に寄与できるグローバル人材を目指し、在学中もいろんなことにチャレンジします。





長濱 貴(名桜大学 国際学群3年)

派遣国:シンガポール

県内インターン先:百名伽藍

海外インターン先: HEARTLINK COMMUNICATIONS

私は留学を通して、自分がどれだけたくさんの人に支えられているか実感しました。沖縄にいる家族や友人だけでなく、現地で仲良くなった方々にもとても優しくしてもらい、そのおかげで充実した留学生活を送ることができました。

将来は、沖縄にて観光を発展させつつも、自然環境を保全するエコツーリズムの分野で活躍できる人材になります。そして、沖縄を観光立県かつエコアイランドの島として世界に広めていきます。そのために、在学中は勉学だけでなく、海外に飛び出したり、学外活動に取り組んだりして、さまざまな経験を積んでいきます。

照屋 真太郎 (琉球大学 観光産業科学部 2 年)

派遣国:台湾

県内インターン先:琉球海運

県外インターン先:沖縄県台北事務所

私は留学を通して専門的な部分の成長と社会人としての成長がありました。専門的なところでいくと「沖縄から台湾への輸出を取り巻く環境」について詳しくなったことです。税関や卸、メーカーや物流業者に至るまで各セクターの方々とお話をすることができました。社会人としては、海外の第一線で活躍する方々と接するなかで、一つの事柄に対して自然と論理的に自分の意見を述べることができるようになったことです。



将来は沖縄県の多くの企業が県外、海外へ進出していくことをサポートしていけるようなコンサルティングファームを沖縄で作っていきたいと思っているので、若いうちに密度の濃い多くの経験を積んでいきたいです。



島袋 涼(琉球大学 観光産業科学部4年)

派遣国:ベトナム/ホーチミン

県内インターンシップ先:美さと児童園

海外インターンシップ先:ストリートチルドレン友の会

学外での英語学習(スーパーで買い物をしながら英語を学ぶ活動)や国際交流を通して、公立校に通えない子ども達の視野を広げたり、遊びやスポーツを経験する機会を与える活動に多く参加したのですが、そこで子ども達が何かを初

めて経験したり見たり食べる瞬間に立ち会うことができました。子ども達の嬉しそうな顔や楽しそうにしていた様子がとても印象に残っています。この経験から、些細なことでも新しいことを知ることは、子ども達の価値観に良い影響を与えることができると感じました。

県内での後半のインターンシップでは、美さと児童園の子ども達にベトナムの子ども達からの絵手紙を渡 すことになっています。子ども達の反応がすごく楽しみです。



登川 仁至(沖縄大学 人文学部3年)

派遣国先:ベトナム

県内インターンシップ先:沖縄縄リサイクル運動市民の会

海外インターンシップ先: Research and International Cooperation Division

Cham Islands Marine Protected Area

自分ができる活動を探すことが大変で印象に残っています。また、派遣期間中に体調を崩した際には、自分が多くの人に支えられていることがわかりました。また、現地の言葉が話せない状況での生活から始まり、語学学校に通いながらベトナム語で買い物、日程調整簡単な単語でできるようになりました。当初は完璧な言語を話さなければならないと思い込んでいたのですが、生活をするために最低限必要の言葉を覚え、日常会話に発展させることができることを学びました。

今後の目標は、世界中に溢れているゴミとして処分されているものを資源や製品に再生利用できるような仕組みを作っていくことです。

岸本 咲紀(琉球大学 農学部2年)

派遣先国:ベトナム

県内インターンシップ先:沖縄県環境科学センター

海外インターンシップ先: Forest Inventory and Planning

Institute

私が留学を通して学んだことは、積極的に行動することの大切さです。受け身で待つのではなく、自ら行動することでたくさんのチャンスを得ることができました。JICAの専門家の方にアポイントをとってお話を聞くことができ、3月に沖縄で開催予定の森林関係の国際シンポジウムへ参加する機会を得ることができました。

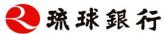
今後の目標としては、沖縄の環境問題を解決するグローバル人材になりたいです。そのためにトビタテを通して学んだことを今後に活かして行きたいです。

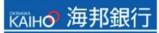




現在、下記の企業・団体の皆様にご支援いただいております。 ご支援いただいている企業・団体の皆様におかれましては、厚く御礼申し上げます。 引続き、支援いただける企業様を募集しております。どうぞよろしくお願いいたします。











沖縄雷力



秀 金秀グループ

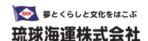








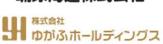












MAEDASANGYO HOTELS 前田産業ホテルズ







沖縄経済同友会

















「沖縄からアジアヘトビタテ!留学 JAPAN プロジェクト」の詳細は、プロジェクト公式ホームページにてご確認いただけます。https://www.tobitateokinawa.com/





ホーム

募隻要項

新着情報

企業の皆様

派遣留学生の様子

お問い合わせ

<お問合せ先>

沖縄産学官協働人財育成円卓会議 事務局 (国立大学法人琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課)

〒903-021 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 (学生窓口) 電話番号:098-895-8761 (企業窓口) 電話番号:098-895-8030 email:tobitateokinawa@gmail.com